

朝里岳～白井岳縦走山行

日 程 2022年3月27日(日)

天 候 曇りのち晴れ

参加者 CL 後藤 SL1 澤田 SL2 水江

石井 宇佐美 宇田 太田 笹山 八重樫 (9 名)

行程時間 伊達道の駅(5:30) 国際スキー場(7:30) 登山開始(9:00)

山頂着(10:10) 下山(10:15) 滑降開始(10:40)

昼食(11:00) 下山(11:30) ロッジ着(12:00) 解散(12:20)

昨夜からの雨が小雨に変わり 降り続いています。気温が上がり、雪が急激に融けています。
天気予報では、風は強いものの次第に晴れ間が広がるとのことです。予報を信じて出発。

スキー場に着いてから、降り続いていた小雨も止みました。札幌組と合流して、
始発の8人乗りキャビンで、標高1099m迄一気に上がります。
周りはガスに覆われていて 視界が悪くほとんど見えません。

スキーをはいて出発。雪質は表面が固いモナカ状の雪です。歩き始めは林間なので、
風は気にならず快調に進む。時々薄明るくなるものの、相変わらずの濃いガスです。
前方に、こんもりとした雪の斜面がうっすら見えてきました。登りが始まりました。
全体が見えないので、大した登りではないだろうと思いながら進むが、ガリガリ斜面のうえ傾斜も増して
続いています。スキーのエッジをきかせ、トラバースしながら登って行きますが、次第に風が強く当たり
転びそうになる。途中でスキーアイゼンを付けることも出来ず、安全な所までこらえて登る。

安全と思われる場所でアイゼンを装着する。このタイミングでリーダー会議。
結果、朝里岳の頂上迄行き そこから撤退する事になった。



足元が安定したので、向かい風（風速14～15m程）に飛ばされることもなく、おおよそ30分で山頂のある台地に着いた。山頂を探すがなかなかたどり着けない。

山頂らしき所で写真に収まり、直ぐに下山開始。

アイゼンを装着した所迄降りると、嘘のようにガスが切れ視界が良くなっていた。

初めて周りの景色が見えた。

ここでアイゼンとシールを外す。

ガリガリの大斜面を、スキー場が在る左側方向にトラバース気味に滑降する。

途中の斜面でスノーモービルのグループが、エンジン音を鳴り響かせて、縦横無尽に走っていた。車輪の跡にはまらない様、注意しながら滑る。

沢状地形の所（標高1170m）で早目の昼食。

予報通り素晴らしく晴れ渡り、青い空と白い雪が眩しい!! 山頂とは大違いのここは天国です。

緩やかに降りて行くと、長いながいスロープのゲレンデが待っていました。

それぞれが、滑りを楽しみロッジに着きました。

来シーズン、雪質の良い時期にリベンジしましょうと、約束して解散しました。

リーダー、長距離を走って頂いたドライバーさん ありがとうございました。

（ 1170mから見上げた斜面 ）

（記 八重樫）

